

フランス語学科		教授	木田 剛	大学院の授業担当 有
教育活動				
教育実践上の主な業績		年月日	概要	
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)				
1	外国語科目に関して	2019年4月～現在	最新の外国語教育研究や第二習得研究の知見(Content-based learning vs. Skill-based training; multimodality, Social interaction, Interlanguage pragmatics, etc.)に基づいて授業を運営するように心がけている。	
2	講義科目に関して	2019年4月～現在	講義科目を外国語科目の延長と捉えて、両者の有機的な関係を保持することに努めている(とりわけ、Content-based learning)。	
3	演習科目に関して	2019年4月～現在	PBL形式で問題解決型の授業を実施するようにしている。また、グループワークやピアラーニングを積極的に取り入れる、学修者主体の授業に心がけている。	
2 作成した教科書、教材、参考書				
1	「安定を模索するアフリカ」	2017年3月	アフリカの概要を示しつつ、いくつかの代表的な国やテーマについてわかりやすく述べたもの。	
2	Geste et appropriation : acculturation non verbale des étrangers	2014年2月	ジェスチャーの研究史や最新の研究成果に基づいたジェスチャー学の新たな視座を提示したもの。	
3	Les Hibakusha parlent. Témoignage de Hiroshima/Nagasaki	2014年～現在	20分程度の被爆者証言の映像をフランス語に字幕翻訳したもの(2020年3月現在、10本)。	
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等				
1	Issues and challenges around higher education in Japan	2020年2月	第4回国際会議「The rise of Asia in global history and perspective」Université Paris 1 Panthéon-Sorbonne / Université Le Havre Normandie	
2	The role of global education in alleviating conflict and building inclusive societies	2019年3月	第3回国際会議「The rise of Asia in global history and perspective」Université Paris 1 Panthéon-Sorbonne / Université Le Havre Normandie	
3	General framework of JSPS-KAKENHI research project for MUN	2018年12月	第1回国際会議「GEIC 2018: Learners' Profiles」筑波大学	
4	Global negotiation in foreign language education in Japan	2018年9月	第6回国際会議「A return trip from the East to the West」ブカレスト	
5	Japanese university students and global peace-building conferences: Developing English language skills	2014年8月	第53回大学英語教育学会(JACET) 国際大会(基調講演)広島市立大学	
4 その他教育活動上特記すべき事項				
1	全米模擬国連(NMUN)in エアフルト, Faculty Advisor	2019年11月27～30日	ドイツ・エアフルトで開催された全米模擬国連に参加し、Faculty Advisorとして参加者に助言を行った。	
2	兵庫県中播磨県民センター主催講演「日本文化の国際化」兵庫県公館第1会議室	2019年9月21日	兵庫県公館に招待された高校生を前に講演を行い、参加者の発表に対してコメントした。	
3	研究室訪問特別授業「国連コミュニケーション」(清風南海高校)	2018年3月16日	大学を訪問した高校生に対して担当する授業を体験させた。	
4	フランシュ=コンテ大学(フランス、ブザンソン)客員教授(ERASMUS+)	2018年2月～2018年3月	フランスのブザンソン大学で、ERASMUS+に規定にそって、学士から修士課程の複数の科目においてゲストスピーカーとして講義した。	
5	特別講演「アジア人として地球規模課題にできること」(上海甘泉外国語中学、上海)	2017年2月23日	左記の高校にて国際場で議論されている地球規模課題について概説し、大学で行われているグローバル教育を紹介した。	
6	土浦日本大学高校GS国際社会人講演会「地球規模課題と向き合う」	2017年1月28日	左記の高校にて国際場で議論されている地球規模課題について概説し、大学で行われているグローバル教育を紹介した。	
7	SGHシンポジウム「異文化理解とは」のコーディネート(筑波大学附属高校)	2015年2月24日	筑波大学所属の外国人留学生とともに、日本における異文化理解に関するシンポジウムを組織し、その集会で司会を行った。	
8	Japan University English Model United Nations, Faculty Advisory Council member	2015年1月～2019年3月	関西で開催されているJUEMUNIに参加し、Faculty Advisorとして参加者に助言を行った。	
9	出張講義「グローバル人材に必要なスキル」のコーディネート(筑波大学附属高校)	2014年10月17日	国際社会で活躍するための必要なスキルについて論じ、大学での実際に行われている取り組みを紹介した。	
10	米国Frederick Community Collegeの授業「多文化理解」でのゲストスピーカー	2013年2月18日	メリーランド州にある米国の大学にて、つくば市における震災とそれ以降の状況について英語で概説した。	

フランス語学科		教授	木田 剛	大学院の授業担当 有
11	Tsukuba English Model United Nations (TEMUN)の設立・運営	2011年10月～2019年3月	筑波大学において模擬国連を創設し、毎年準備講習を実施するとともに、実際に模擬国連を組織した。	
学会等および社会における主な活動(学外の委員、役職等)				
年月日		活動内容		
2019年10月～現在		The rise of Asia (Université Paris 1 Panthéon-Sorbonne/Université Le Havre Normandie), Scientific board member		
2015年1月～現在		Study Abroad Research in Second Language Acquisition and International Education (Amsterdam/Philadelphia, John Benjamins), Editorial board member		
2013年1月～現在		地球システム・倫理学会 会員(2013年6月より評議員)		
2012年4月～現在		日本フランス語学会 会員(2017年6月より編集委員)		
2010年4月～現在		理論経済学会 会員		
その他				
<ul style="list-style-type: none"> ・Nomination on the list of qualification for functions of associate professors and researchers (7th section, Language Sciences) by National Council of Universities (France), 26 January 2006 (JORF n° 276 du 29 novembre 2006 texte n. 53, NOR: MENH0602123K) ・Ronald N. Young氏(米国上院議員), Barbara A. Mikulski氏(米国上院議員), David S. Gysberts氏(Hagerstown市長)よりCitationを授与(2013年2月) ・日米研究インスティテュートレポート(U.S.-JAPAN Research Institute Report) Vol.57で研究活動が紹介される(2017年3月)。 ・ORCID ID: 0000-0001-6368-4559 ・競争的外部資金獲得状況(日本学術振興会) 1) 基盤研究B(一般)「模擬国連を中心としたグローバル教育における国際交渉力の 調査研究」(番号18H00684、期間2018～2022、研究代表者) 2) 基盤研究C(一般)「Empirically Grounded Training Materials for International Negotiation」(番号26370667、期間2014～2018、研究分担者) 				